平成 31 年度教育活動方針

岡山科学技術専門学校
校　長　　大月　秀之

Ⅰ　教育理念

技術教育を通じての人間教育

Ⅱ　教育目標

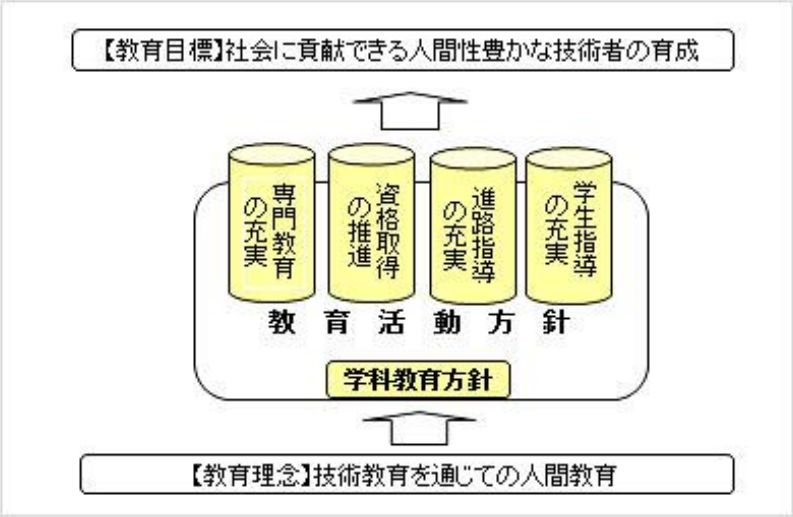
1　社会の要請に応える人間性豊かな技術者を育成する。
2　社会における果たすべき使命を自覚し、創意と工夫のできる技術者を育成する。
3　科学技術に積極果敢に取り組む、誠実で逞しい精神力を備えた技術者を育成する。
4　自他の健康と安全に配慮ができる、健康で明朗な技術者を育成する。

Ⅲ　教育方針

1 専門教育の充実　2 資格取得の推進　3 進路指導の充実　4 学生指導の充実

Ⅳ　教育体系

教育理念の下、上記４項目を教育活動の柱とし、全教職員が教育の活性化に努め、教育目標の実現を目指す。



教育体系

Ⅴ　本年度の具体的方針

社会は情報化・国際化・少子高齢化が一段と進み、職業教育の重要性が一層高まる中、今年 4 月には「専門職大学」が開校、また、平成 32 年 4 月には高等教育の無償化がスタートする。選ばれる学校、認められる学校として、職業教育の水準のさらなる向上が求められる。PDCA サイクルの機能を踏まえた教育実践を通して、教職員の資質・能力の向上とともに、企業や関係部署との連携を強化し、本校の特色を生かす教育の一層の充実・発展に努める。

なお、年度末には１年間の教育活動の総括として自己点検・自己評価を実施し、次年度の教育活動方針等に反映させる。

組織としての力を高める
キーワード　　「共有と協調」

「技術教育を通じての人間教育」の下、一人ひとりを大切にする教育、「学生に何が身についたのか、何ができるようになったのか」を重視した教育を通して、心豊かで逞しく、働く意欲の旺盛な技術者の育成を目指す。

＜身に付けさせる力＞
①専門の知識・技術（基礎・基本と応用力)、忍耐力
②自ら考えることができる力、協調性、コミュニケーション能力
③実践的な最先端の知識・技術・技能、倫理観
④６Ｓの意識と安全意識

1　6S 管理の徹底（安全意識の醸成）

意識を高め、一層の徹底に努める。(環境の整備と内容の精査)

「整理・整頓・清掃・清潔・躾・安全」

1　職員室（事務室も含む）の管理［整理、整頓、清掃、清潔］ （机上を整頓し周りに積み上げた物がない、見通しの良い明るい職員室（事務室）を目指す！）

2　ＨＲ教室の管理［整理、整頓、清掃、清潔、躾］ （汚れ、ごみ、不要な物がない美しい教室、落ち着いて学習できる教室を目指す！）

3　実習工場（高柳校舎）の管理［整理、整頓、清掃、清潔、躾、安全］ （必要な装置が整然と並んだ、安全で美しい実習工場を目指す！）

4　実習室（昭和町校舎）の管理［整理、整頓、清掃、清潔、躾、安全］ （機器等を整然と配置するとともに、きれいで明るく美しい実習室を目指す！）

5　実習の管理［整理、整頓、清掃、清潔、躾、安全］ （学生が意欲を持って臨め、真に学習効果の上がる実習指導を目指す！）

6　授業（座学）の管理［整理、整頓、清掃、清潔、躾］ （学生が意欲を持って取り組む、分かり易い授業を目指す！）

7　授業中（座学、実習)、校外研修、通学途上等の学生管理［躾、安全］ (授業中等における事故や問題行動は、学校の管理責任が問われる。授業中等の学生の動向に細心の注意を払い、事故等のないように指導する。)

２　専門教育の充実（教育の質の保証）

本校教育の水準のさらなる向上を図る。(今年 4 月に専門職大学が開校、平成 32 年 4 月には高等教育の無償化がスタート)

(1) 授業の工夫・改善（教えること、考えさせることの区別）
　・基礎・基本の定着
　・学生が主体的に学ぶ授業の工夫
(2)「職業実践専門課程」認定学科としての教育の質の保証
　企業と連携した、社会の変化に対応できる実践的教育の充実
　・質の高い専門教育による確かな技術力を身に付けさせる。
　・インターンシップを活用した実践的教育の充実を図る。
　　（働く自信とコミュニケーション能力、協調性を育む）
(3) 資格取得の一層の向上
　専門知識の習得、チャレンジする力、困難を解決するための継続する力の育成
　・目指す資格を明確にし、学科を挙げた組織的・計画的な合格に向けた指導を徹底する。

３　学生指導の充実（情報の共有）

学科教員間の意思の疎通、保護者や関係機関との連携を深め、相談・支援体制の充実に向け組織力を高める。(進級率・卒業率 95%以上を目指す)

(1) 基本的な生活習慣の確立
　社会人としての豊かな人間性を育む。
　・あいさつの励行
　・授業を大切にする指導（マナー、学ぶ意欲の高揚）
(2) 学生との意思の疎通に努めるとともに、保護者との連携を密にし、信頼関係の構築、退学をさせないきめ細かい指導を徹底する。
(3) 禁煙指導や健康意識の高揚を図り、健康管理に努める。

４　進路指導の充実（就職内定率 100%、卒業生の把握）

進路指導課と学科の連携を強化、就職支援と卒業後の離職等も含めた動向確認の推進

(1) 進路指導課と各学科との連携を密にして積極的に企業訪問を行い、一人ひとりの適性を生かす就職支援を推進する。
(2) ビジネス教養や一般教養の授業を充実させ、社会人としての素養を身に付けさせる。
(3) 同窓会、企業後援会との連携を密にし、卒業後の動向の調査・確認等を通して、就職支援や職場定着に役立てる。

５　留学生の指導・支援の充実（情報の共有）

教職員間、関係部署の連携を密にし、情報の共有を通して、４年間を見据えた協調した効果的な指導に努める。

(1) 日本語能力の向上
　・N2 合格に向けた組織的、計画的な指導
　・会話力向上に向けた取組
(2) 専門科目の指導の充実
　・専門科目の指導方法の工夫
(3) 進路指導の充実
　・進学に向けた指導体制の確立
　　（進学に向けたガイダンス、就職を見据えた専門学科授業見学）
　・就職に向けた指導の充実（就職に向けたガイダンス、インターンシップの実施）

(4) 生活実態の把握と支援
・生活習慣の確立に向けた支援の充実
生活状況の把握の徹底（出欠、アルバイト、宿舎）

６　学生確保

広報企画課と学科との情報の共有と協調による戦略的な学生確保

(1) 広報企画課、学科、就職推進課がより協調し、情報の共有と多角的な分析、役割の明確化を図り、学科の魅力の効果的な発信を行い、学生確保に努める。
(2) オープンキャンパスの方法・内容の工夫と改善に努める。（歩留まり率 65%以上）

７　教職員の資質・能力の向上（教育の質の保証）

教員評価と教員研修の充実

(1) 教員評価
３回の面談を通して意思の疎通を図り、教職員個々の目標（教育活動方針や学科教育方針を踏まえた内容）の達成、資質能力の向上と学校組織の活性化に努める。
総合評価は、最終面談において本人に開示する。
(2) 教員研修の充実
年１回、学生理解や指導力向上に向けた教員全員研修を行う。また、各学科専門力向上に向けた教員研修を計画的に行い、報告会等を通して情報を共有し、資質、指導力の向上を図る。
(3) 公開授業の充実
・全教員の公開授業を実施し、授業力の向上と学科教育の充実を図る。また、実施後、意見交換会を開き、授業の改善に努める。
・公開授業は、２年に１回以上。授業見学は、前期・後期でそれぞれ２回以上。
(4) 資格取得の推進
教職員の資格取得への積極的な挑戦を奨励する。